

善行地区東部での実証運行実績

目 次

1 実証実験の概要	・ ・ ・ ・ 1
2 実証実験（地域内交通）の利用状況等	・ ・ ・ ・ 2
3 今後の対応（案）	・ ・ ・ ・ 5

第 8 回 藤沢市地域公共交通会議

2015 年 3 月 5 日（金）

藤 沢 市

1. 実証運行の概要

第7回地域公共交通会議において、善行地区東部での地域内交通の導入について案を示し、2月からの実証実験の実施を取り決めました。2015年2月2日より運行を行っている地域内交通の実証実験の概要を以下に示します。

(1) 運行概要

運行概要は以下の通りとなっており、運行期間は2月2日～3月31日の2カ月間としています。

表-1 運行概要

	実証運行で予定する条件
運行ルート	O1 系統[亀井野団地方面]：善行駅東口～亀井野団地～善行駅東口 O2 系統[立石公園方面]：善行駅東口～立石ハイツ～善行駅東口
所要時間	O1 系統、O2 系統ともに <u>10分程度を想定</u>
運行時間	O1 系統、O2 系統ともに <u>午前9時～午後5時</u> ※ 土休日運休
運行本数	O1 系統、O2 系統ともに12回
運賃 ※実証運行期間は 安く設定 (会費も無料)	大人（中学生以上）：250円 小人（未就学児除く中学生未満）：130円 幼児（未就学児）：無料
使用車両	セダン型車両（定員4名）を主に使用します ※ 満員の場合には、追加便が運行します

(2) 運行時間帯

運行時間帯は下表の通り、午前9時台から午後17時台となっています。なお、利用が集中すると想定された午前9～10時台と午後16時台については、30分に1本の運行間隔としています。

表-2 運行時刻表

O2系統[立石公園方面] 時刻表

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
①善行駅東口	15 45	15 45	15	15	15	15	15	15 45	15
②八洲台3の通	17 47	17 47	17	17	17	17	17	17 47	17
③伊勢山辺中央	18 48	18 48	18	18	18	18	18	18 48	18
④伊勢山辺坂下	19 49	19 49	19	19	19	19	19	19 49	19
⑤水道みち下	19 49	19 49	19	19	19	19	19	19 49	19
⑥立石公園	20 50	20 50	20	20	20	20	20	20 50	20
⑦立石ハイツB棟	20 50	20 50	20	20	20	20	20	20 50	20
⑧立石ハイツE棟	20 50	20 50	20	20	20	20	20	20 50	20
⑨善行市民センター前	22 52	22 52	22	22	22	22	22	22 52	22
①善行駅東口	26 56	26 56	26	26	26	26	26	26 56	26

O1系統[亀井野団地方面] 時刻表

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
Ⓐ善行駅東口	00 30	00 30	00	00	00	00	00	00 30	00
Ⓑ善行駅東口下	00 30	00 30	00	00	00	00	00	00 30	00
Ⓒ立石市民の家	01 31	01 31	01	01	01	01	01	01 31	01
Ⓓ俣野子どもの家	02 32	02 32	02	02	02	02	02	02 32	02
Ⓔ亀井野住宅	03 32	03 32	03	03	03	03	03	03 32	03
Ⓕ亀井野公園	03 33	03 33	03	03	03	03	03	03 33	03
Ⓖ亀井野団地	04 34	04 34	04	04	04	04	04	04 34	04
Ⓗ渋沢台	04 34	04 34	04	04	04	04	04	04 34	04
Ⓖ善行駅東口下	05 35	05 35	05	05	05	05	05	05 35	05
Ⓐ善行駅東口	08 38	08 38	08	08	08	08	08	08 38	08

(3) 運行ルート図

運行ルートは、下図の通り善行駅東口とし、北ルート（01 系統）、南ルート（02 系統）の 2 系統で運行しています。

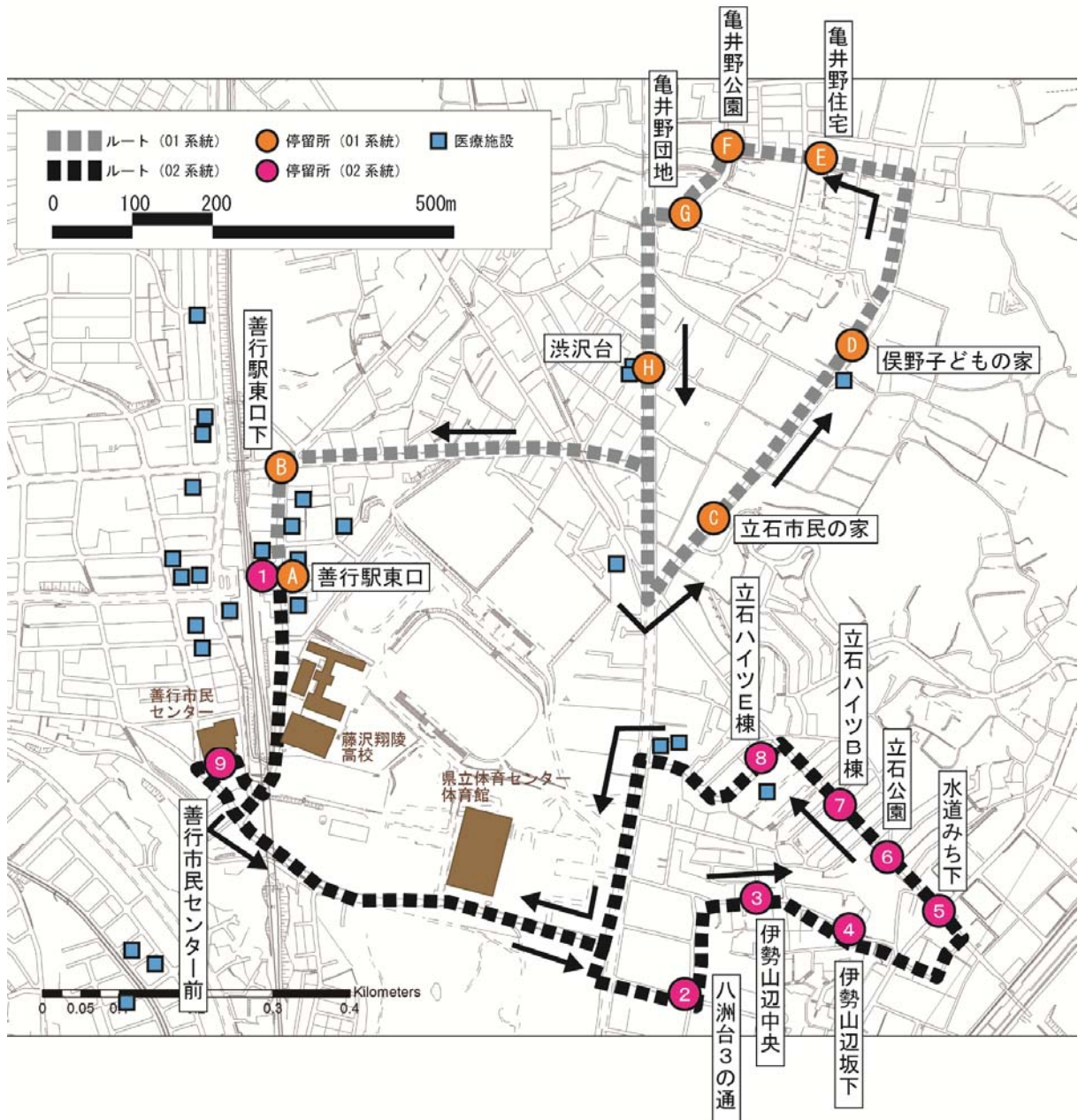


図-1 優先エリアの位置図

2. 地域内交通（実証実験）の利用状況等

2月2日より開始した実証実験の利用状況を以下に示します。

(1) 日別の利用状況

2月2日から2月27日までの4週間の日別利用状況は以下の通りとなっています。3週間の平均は1日当たり16.4人（北ルート10.1人/日、南ルート6.3人）となっており、事前に実施したアンケート調査で想定された結果と比較すると、利用者数は少なくなっています。

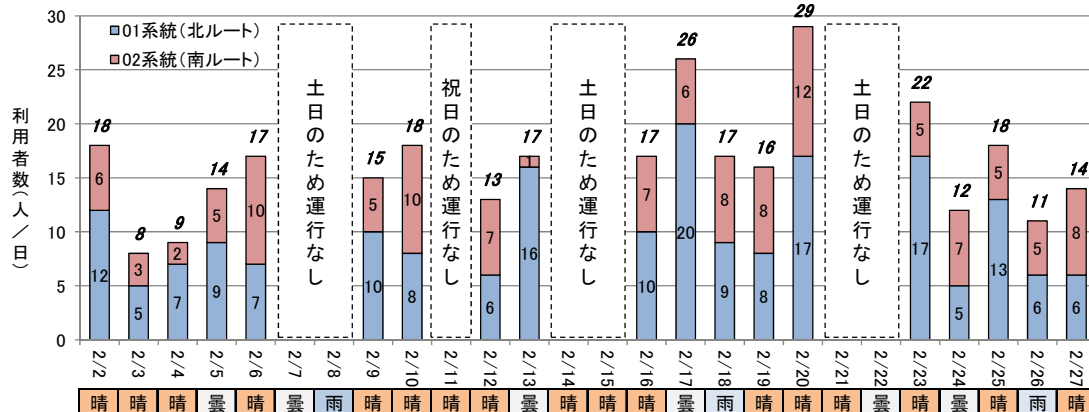


図-2 日別の利用者数の推移 (2/2~2/27の19日間 (平日のみ) の平均)

(2) 時間帯別の利用状況

時間帯あたりの利用者数は以下の通りとなっています。9時台と16時台の利用が多くなっていますが、この時間帯は30分間隔での運行を行っており、1便当たりの利用者数は少なくなっています。アンケートで想定された利用者からのかい離が大きくなっています。

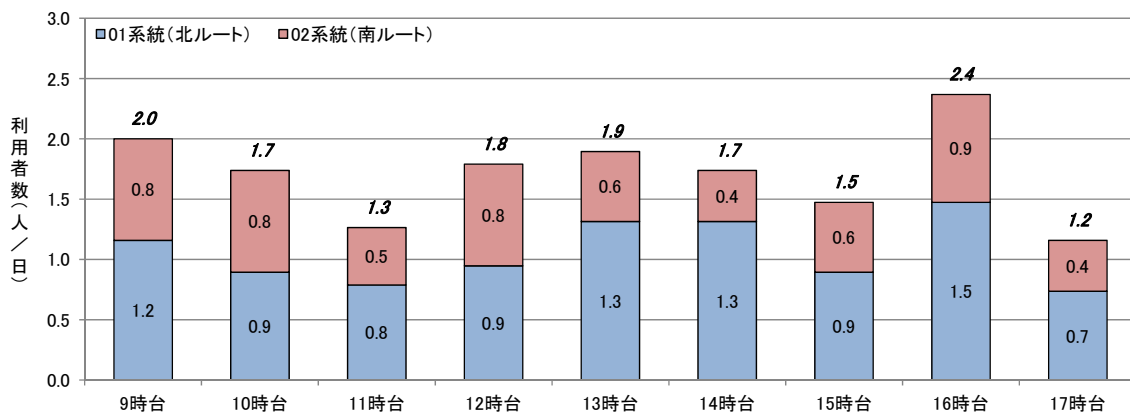
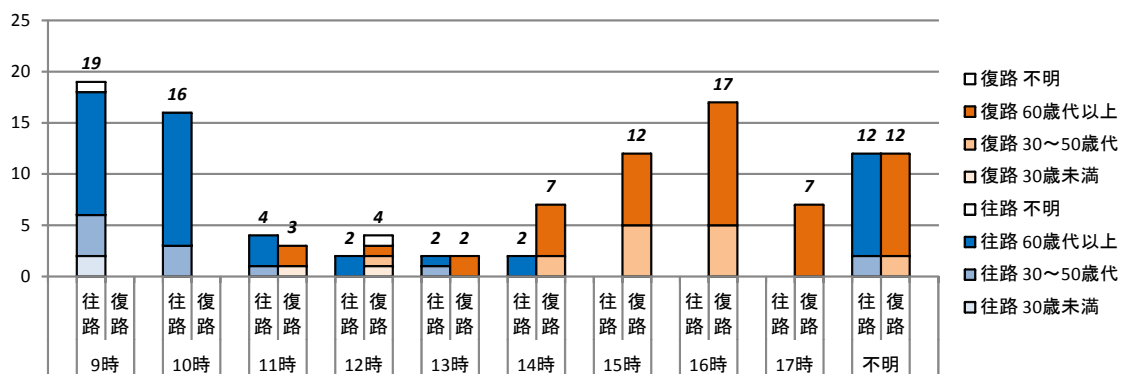


図-3 時間帯別の利用者数 (2/2~2/27の19日間 (平日のみ) の平均)

<参考>アンケート調査における時間帯別の想定利用者数



(3) 停留所別の利用者数

停留所別の1日当たりの利用者数は以下の通りとなっています。01系統(北ルート)は亀井野住宅、亀井野公園、亀井野団地などの停留所からの利用が多く、02系統(南ルート)は立石公園、立石ハイツB棟などの停留所からの利用が多くなっています。

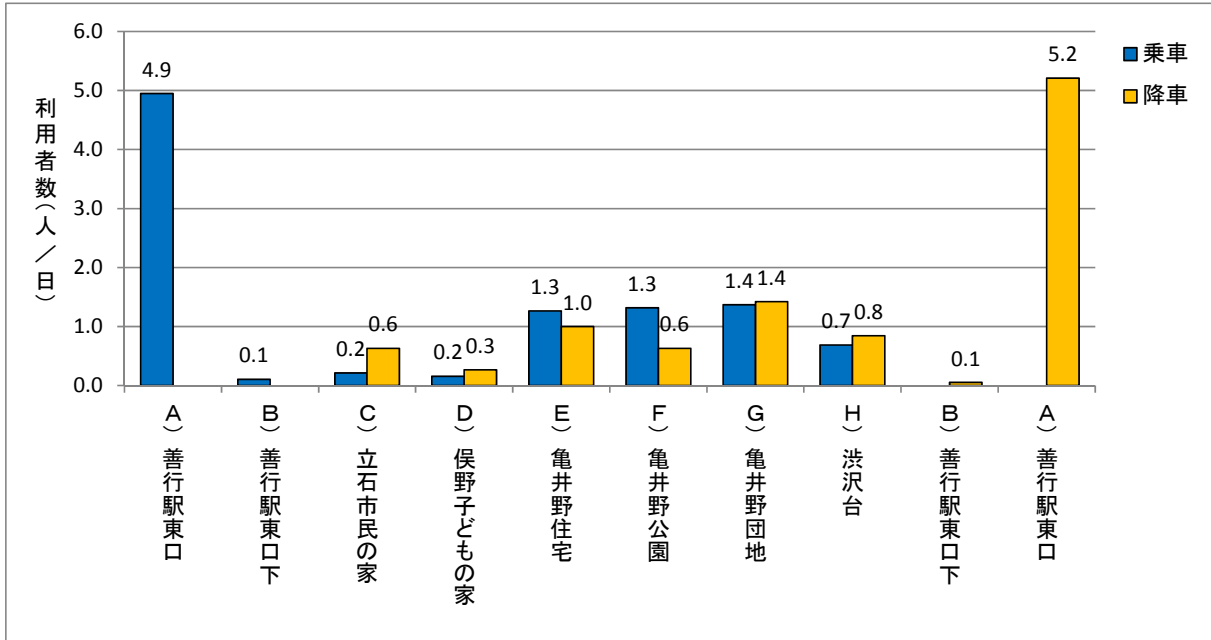


図-4 停留所の利用者数(北ルート、2/2~2/27の19日間(平日のみ)の平均)

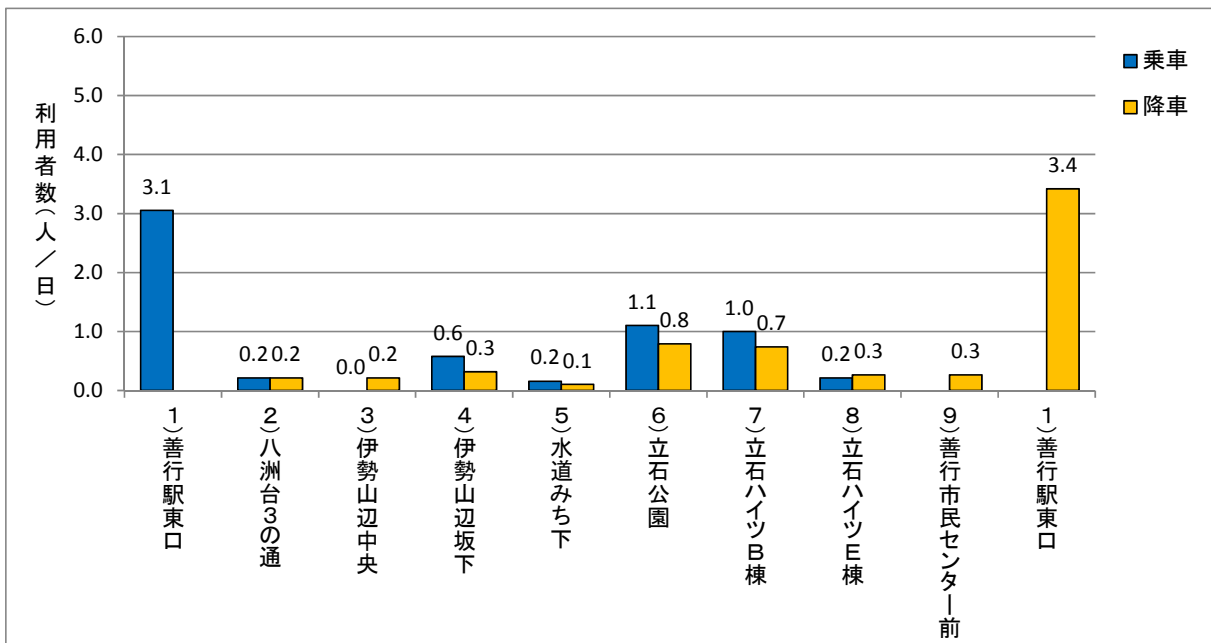


図-5 停留所の利用者数(南ルート、2/2~2/27の19日間(平日のみ)の平均)

(4) 空車での運行

運行を実施した際、空車で運行した回数を示したものは、以下の通りとなっています（日別の運行状況より、1日当たりの空車台数を整理）。

このことから、9時台及び10時台、16時台の運行については利用が進まない状況にあり、運行改善に向けて精査が必要となります。

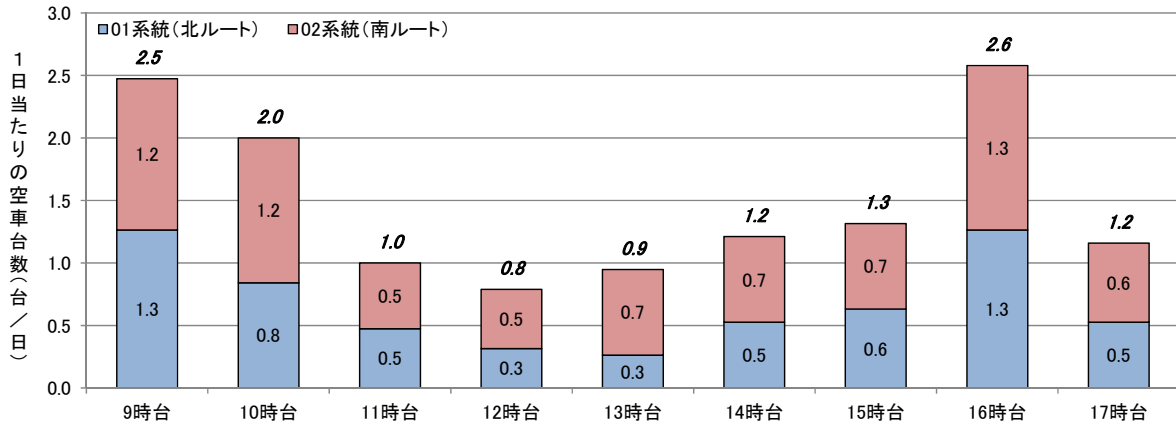


図-6 時間帯別の空車台数（2/2～2/27の19日間（平日のみ）の1日当たり台数）

(5) 住民等への周知

実証運行にあたり、広報、自治会回覧、新聞記事等で周知が図られておりますが、「のりあい善行」の実証運行について、認知していない住民も多く、この取り組みについて、さらなる周知活動が必要と考えられます。

3. 今後の対応（案）

現在の利用状況が、想定を下回ることと、利用のされる時間帯等がアンケート結果と異なるため、利用促進と、経費抑制に向けた対応を進める計画についてお示します。

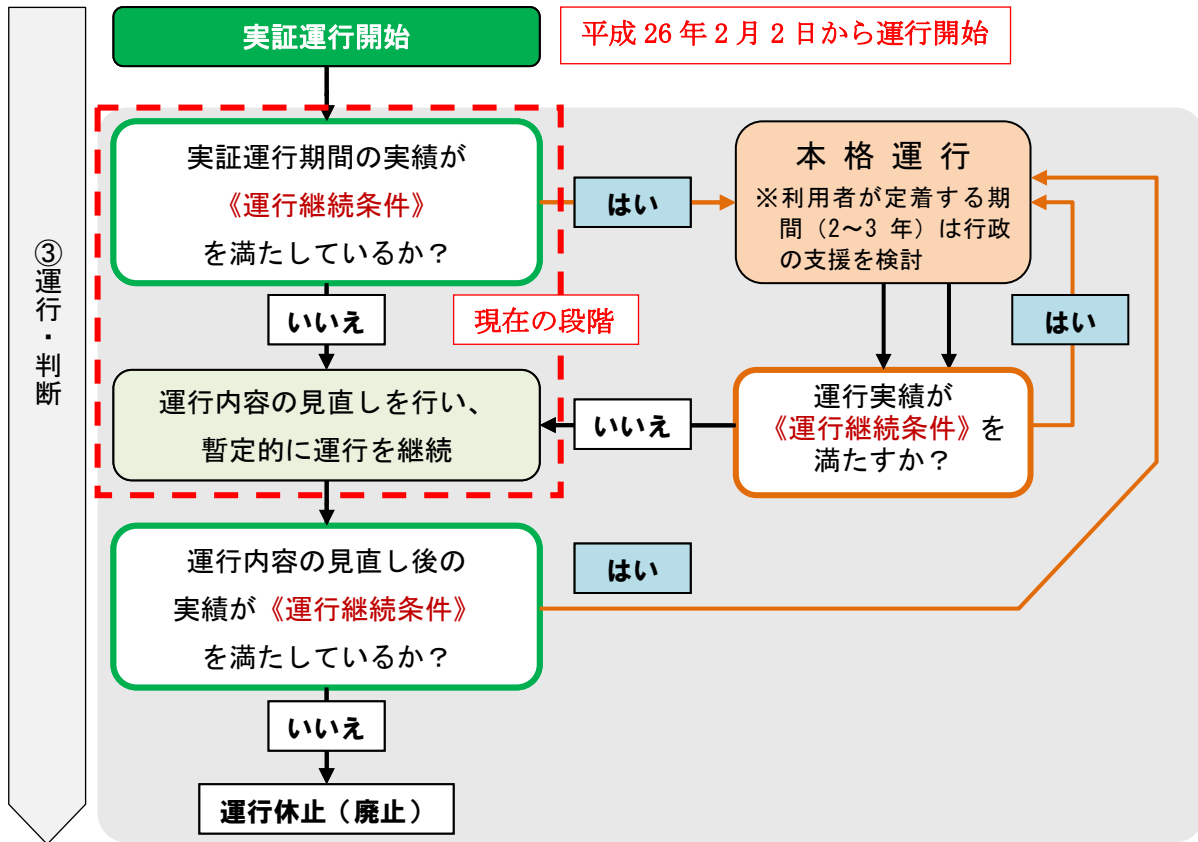


図-7 実証運行から本格運行への移行、本格運行の継続の判断のフロー

(1) 利用促進策

利用促進に向けた対応については、現在、地域の方とお話するなかで、「のりあい善行」の認知度が低く、利用が進まないことから、次のことを予定します。

① 地域と連携した周知活動

作成したパンフレットの配布、商業施設等の窓口に配置することを地元と連携して更に進めます。

② 車内アンケートの実施

乗車前後の利用者に対して、利用者アンケートを行い、事業の改善計画を立案する。アンケートについては、次ページの書式を予定。配布・回収については乗合タクシーの運行事業者の協力を求める予定としております。

なお、利用が進んだ段階で多くの意見を集めたいという考えから、周知活動を進めたうえで、車内アンケートを行うこととします。

表 面

※運転手記入欄
調査日：平成 年 月 日、系 統： 、 便 名：

「のりあい善行」の利用実態に関するアンケート調査

現在、実証実験を行っている「のりあい善行」について、皆様のご利用状況やご要望を把握し、今後の改善等に役立てていくためのアンケート調査です。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

①ご自身についてお答えください。

性別	①男性	②女性	
年代	①30歳代未満	②30歳代	③40歳代
	⑤60歳代	⑥70歳代	⑦80歳代以上

②「のりあい善行」の利用目的、利用頻度、利用時間帯、乗車場所についてお答えください。

利用目的	①通勤・通学	②買い物	③通院	④その他私事	⑤その他 ()
利用頻度	①ほぼ毎日	②週に3~4日	③週に1~2日	④月に2~3日	⑤月に1日程度
利用時間帯	①行き 善行駅周辺に (午前・午後) 時 ごろ				
	②帰り 善行駅周辺から (午前・午後) 時 ごろ				
利用停留所	①自宅側停留所→ ()		②目的地側停留所→ ()		

③「のりあい善行」の下記の項目について、改善の余地があるかお答えください。

【運行ルート】現在、善行駅東口を起点として、北ルートと南ルートの2ルートで運行していますが、運行ルートについて改善の余地があると感じていますか？ご要望があれば下記にご記入ください。
※運行ルートについては、裏面のルートマップをご覧ください。

①改善の余地があると感じている	→		
②現在のルートで問題ないと感じている	→		具体的要望をご記入ください

【運行ダイヤ】現在、北ルート、南ルートともに午前9時から午後5時まで運行を行っていますが、運行ダイヤについて改善の余地があると感じていますか？ご要望があれば下記にご記入ください。

①改善の余地があると感じている	→		
②現在のダイヤで問題ないと感じている	→		具体的要望をご記入ください

【停 留 所】現在の停留所の位置について、改善の余地があると感じていますか？ご要望があれば下記にご記入ください。(※停留所の位置については、裏面のルートマップをご覧ください。)

①改善の余地があると感じている	→		
②現在の停留所で問題ないと感じている	→		具体的要望をご記入ください

【車 両】現在、のりあい善行ではセダン型車両(定員4名)での運行を行っていますが、車両の大きさについて改善の余地があると感じていますか？ご要望があれば下記にご記入ください。

①改善の余地があると感じている	→		
②現在の車両で問題ないと感じている	→		具体的要望をご記入ください

【運 行 日】現在、のりあい善行は平日のみの運行であり、土日・祝日は運休となっています。土日・祝日運休とすることについて、困ることはありますか？以下の選択肢から1つお選びください。

①特に困ってはいない	②多少困っている	③土日を主体的に利用したいため、困っている
------------	----------	-----------------------

④自由意見(のりあい善行についてご意見があれば、ご自由にご記入ください)

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) 運行経費の縮減

昨年7月から8月にかけて実施したアンケート結果と利用にかい離がみられることから、利用促進策、車内アンケートを実施した結果を踏まえ、運行の見直し、経費負担の考え方の整理を進めます。

① 運行の見直し

現在の運行実績からは、当初のアンケートで多くの利用者があると想定されたエリア、時間帯において需要が少ない状態となっています。このため、利用者を増やす活動を進めたうえで、利用が見込まれない状態の場合、運行時間をそのままとし、30分間隔の運行を行っている9時、10時、16時の運行について、見直しを行い、各系統、12便から9便への変更等の運行の効率化を進めます。

時刻表			時刻表		
[管行駅東口]停留所			[管行駅東口]停留所		
9	00	30	9	15	45
10	00	30	10	15	45
11	00		11	15	
12	00		12	15	
13	00		13	15	
14	00		14	15	
15	00		15	15	
16	00	30	16	15	45
17	00		17	15	

図-8 運行の見直し（案）

② 自治会・町内会の負担

利用者は、高齢者が主体となる一方、未就学児、小学生等もわずかですが、利用されていることから、地域負担の可能性について検討を行います。

以前、提示した会員、非会員の取り扱いについても検討を進めておりますが、会費の取り扱い、会員証の発行、会員の管理に課題があることから、課題を整理したうえで、具体化の検討を進めます。

自治会費負担を求めた場合のコストモデルは次のとおりです。

表-3 自治会・町内会の負担を見直したコストモデル（利用者数、運行本数は計画時を想定）

■主な変更点

利用者数	変更なし(事前アンケートより想定された利用者数(109名))
運行本数	変更なし(現状と同じ12便/日)
利用料金	変更なし(現状と同じ250円)
会費	世帯ごとの自治会費(世帯当たり50円/月)に変更

■コストモデル

運賃	運行本数	利用者数 (人/日)	運賃収入 (円/月)	自治会費 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
250円	12本/日	109	545,000	103,250	576,000	72,250

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入・運行経費を試算、運行経費は1,200円/回

※運行エリアの世帯数(2,065世帯)より自治会費を算出

表-4 利用者数・運行本数・自治会・町内会の負担を見直したコストモデル（運賃 250 円）

■主な変更点

利用者数	運賃収入と自治会費の合計が運行経費と同じになる利用者数を算出
運行本数	1日12便から9便に変更(9、10時台および16時台を減便)
利用料金	変更なし(現状と同じ250円)
会費	世帯ごとの自治会費(世帯当たり50円/月)に変更

■コストモデル

運賃	運行本数	利用者数 (人/日)	運賃収入 (円/月)	自治会費 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
250円	9本/日	65.8	328,750	103,250	432,000	0

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入・運行経費を試算、運行経費は1,200円/回

※運行エリアの世帯数(2,065世帯)より自治会費を算出

表-5 利用者数・運行本数・自治会・町内会の負担を見直したコストモデル（運賃 300 円）

■主な変更点

利用者数	運賃収入と自治会費の合計が運行経費と同じになる利用者数を算出
運行本数	1日12便から9便に変更(9、10時台および16時台を減便)
利用料金	変更なし(現状と同じ250円)
会費	世帯ごとの自治会費(世帯当たり50円/月)に変更

■コストモデル

運賃	運行本数	利用者数 (人/日)	運賃収入 (円/月)	自治会費 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
300円	9本/日	54.8	328,750	103,250	432,000	0

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入・運行経費を試算、運行経費は1,200円/回

※運行エリアの世帯数(2,065世帯)より自治会費を算出